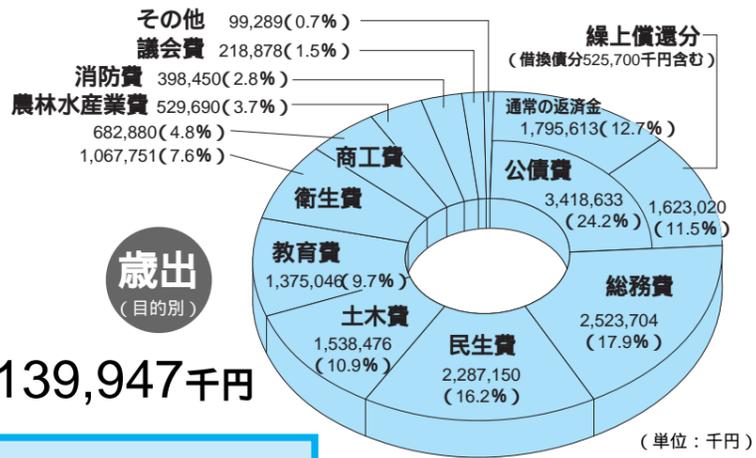
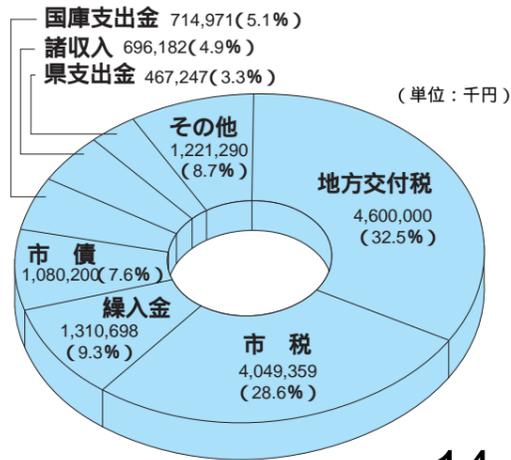


歳入 14,139,947千円

平成13年度予算

141億円の使われ方



歳出 14,139,947千円

項目	金額	割合
公債費	3,418,633	24.2%
通常返済金	1,795,613	12.7%
繰上償還分	1,623,020	11.5%
人件費	3,215,990	22.7%
物件費	2,140,264	15.1%
繰出金	1,426,390	10.1%
補助費等	1,394,572	9.9%
投資的経費	1,039,746	7.3%
扶助費	772,491	5.5%
その他	731,861	5.2%

市の一般会計当初予算の総額は、約141億円となりました。歳入（収入）のうち、一番大きいのは国からもらえる地方交付税で46億円、全体の32.5%となります。

次は、皆さんに納めていただく市税で約40億円、全体の28.6%です。市民の皆さんのために行う事業の予算を歳出（支出）といいます。白石市では、市民の皆さんに満足していただけるサービスの提供に努めています。例えば、介護保険に該当しない高齢者に対する生きがいデイサービス、障害者のスポーツ施設の利用助成、育児支援策としてのファミリーサポートセンターの設置をはじめ市独自のいろいろな施策です。

ほかの市町村ではあまり行わない、市独自のサービスができるのは、白石市の財政が比較的順調だからです。

白石市の予算の一番大きな特徴は繰上償還です。市が必ず支払わなければならない借入金の返済は、18億円で予算の12.7%程度です。しかし、将来、私たちの子供や孫に負担をかけさせないために、まだ返さなくていい分についてもどんどん返しています。これが繰上償還です。それが今年、借り換えに伴う分を除くと、11億円ほどになっています。

繰上償還の総額は、平成13年度予定分まで含めると72億円ほどになります。7年度からこのように返していますから、碧水園、スパッシュランド、白石城などの借入金はすべて返し終わっています。ホワイトキューブについても、平成14年度に10億円ほどを繰上償還しますと14年度末には23億円ほどになり、いつでも全部返せます。

ちなみに、繰上償還しないで普通に返済した場合を試算して、どのくらい効果があったかをみると、およそ2億円もの利払いの負担が軽減されたこととなります。

歳出予算の主な事業は次のとおりです。

総務費

白石三本木線、白角線、大張線生活路線バス運行委託及び市民タクシーの運行経費に1,394万円  
IT社会に対応する情報化対策、アテネ（情報センター）の管理運営に9,962万円

スパッシュランド、碧水園、白石城などの管理運営に9,977万円  
国際交流員の設置など国際交流事業に1,264万円  
ホワイトキューブのイベントや管理運営の委託に2億949万円  
いきいきプラザの管理運営に1,037万円

民生費

シルバー人材センターの運営費補助に1,100万円  
福祉タクシーや障害者スポーツの利用助成、デイサービス、ホームヘルプサービス事業など身体障害者福祉費に1億3,583万円  
知的障害者の地域生活援助、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億6,753万円  
生きがいデイサービス、自立者支援のためのホームヘルプサービスやショートステイ、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、バリアフリー住宅普及促進事業など長寿福祉費に1億6,894万円  
老人福祉センター、総合福祉センター及び福祉プラザやまぶきの運営委託に4,552万円  
児童手当、重度障害児（者）日常生活用具給付、心身障害児（者）ホームヘルプサービス事業など児童措置費に2億484万円  
保育園、児童館の管理運営に5億5,834万円  
ひこうせん（心身障害児通園施設）の管理運営に1,290万円  
子育て支援センターの管理運営に1,250万円

衛生費

患者輸送車の運行や在宅当番医の運営委託に1,022万円  
健康診査、がん検診、骨粗しょう症検診、予防接種業務委託など市民の健康を守る経費に1億7,211万円  
リサイクル運動の報償金、合併処理浄化槽の設置補助など生活環境保全の経費に1億3,194万円  
精神障害者小規模作業所の管理運営に499万円  
地球環境に配慮した行政を行うためのISO14001認証の取得経費に482万円

労働費

勤労青少年ホーム、働く婦人の家、勤労者体育センターの管理運営に5,265万円  
育児支援策としてのファミリーサポートセンター設置の準備経費に329万円

健全な財政運営を引き続き堅持  
（白石市は、全国671市中、地方債の許可手続き簡素化適用の32団体に入る予定です）

農林水産業費

市民農園関係費、農業祭の負担金など農業振興事業に947万円  
畜産振興事業に157万円  
中山間地域等直接支払事業や農道、用水路、ため池整備など農村居住環境の保全と改善のための経費に1億1,414万円  
松くい虫防除、造林事業、砂押山線開設事業など林業振興費に1億809万円

商工費

商店街活性化事業を行う若手事業者グループ、白石繁華街商店街アーケード整備及び商店街の活性化に対する助成、こけしコンクール負担金、中小企業振興資金融資信用保証及び利子補給、中小企業経営資金の円滑化を図るための貸付金など商工業振興費に4億6,910万円

土木費

観光協会、春・夏まつり及び観光振興ための助成など観光費に2,658万円  
温麺の館、弥治郎こけし村の管理運営に953万円  
人工降雪機の設置などスキー場の整備に1億2,988万円

消防費

消防団の運営や小型動力ポンプ積載車などの整備、防災対策など消防費に3億9,845万円

教育費

小中学校総合体育大会などの選手派遣やスパッシュランドの利用助成に415万円

小中学校コンピュータなどの借上に5,180万円  
東中学校排水設備工事やFF暖房機設置など小中学校の整備に4,446万円  
刈田総合病院分校（白二小、白中）建設事業に3,393万円  
南中学校体育館の基本、実施設計などの委託に1,397万円  
小中学校生徒指導対策、特色ある学校づくり及び総合的学習事業に325万円  
スクールバスの運行業務委託に470万円  
外国人による英語指導事業に1,191万円  
幼稚園の管理運営に1億4,508万円  
公民館、図書館、青少年相談センターの管理運営に1億7,707万円  
学校給食センターの管理運営に3億4,138万円

特別会計

国民健康保険特別会計 27億4,737万円  
（対前年比 2,477万8千円増）  
下水道事業特別会計 17億3,614万2千円  
（対前年比 2億9,182万1千円減）  
地方卸売市場事業特別会計 386万4千円  
（対前年比 360万7千円減）  
老人保健特別会計 44億6,627万9千円  
（対前年比 1億3,565万円増）  
農業集落排水事業特別会計 4,571万3千円  
（対前年比 191万4千円増）  
介護保険特別会計 16億378万7千円  
（対前年比 1,236万4千円減）  
水道事業会計  
収益的収入 10億6,962万5千円  
収益的支出 10億4,400万3千円  
資本的収入 93万9千円  
資本的支出 2億1,626万1千円